

静岡市一般廃棄物処理基本計画（案） パブリックコメント実施結果について

令和5年2月

パブリックコメントの実施結果（回答結果）

静岡市一般廃棄物処理基本計画 パブリックコメントの実施結果

(1) 募集期間

令和4年12月1日から
令和5年1月5日まで(36日間)

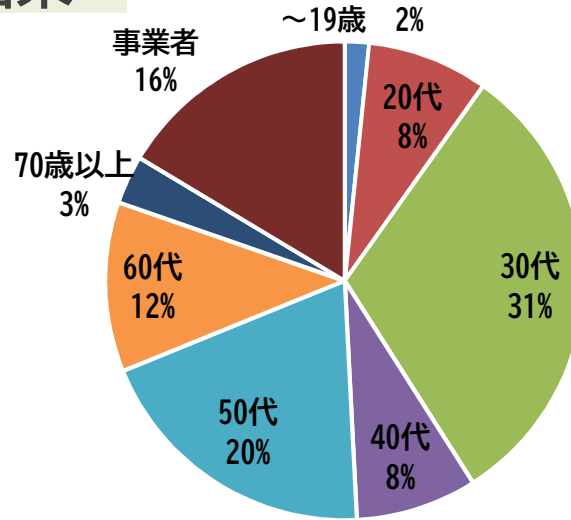
(2) 意見提出者数

61人

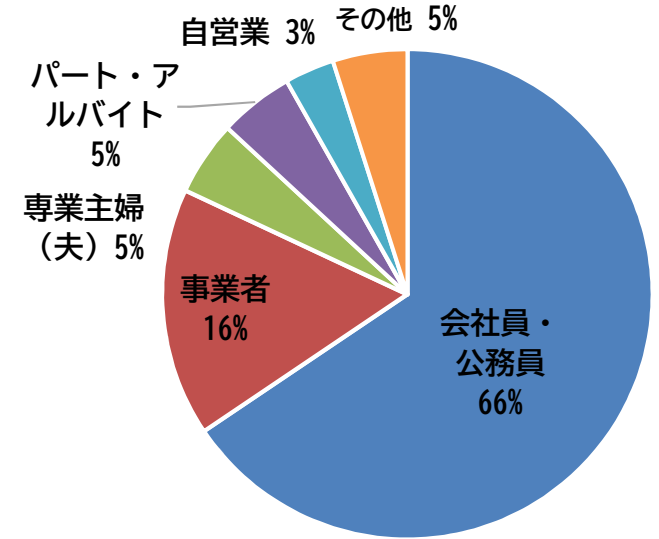
(3) 意見提出件数

157件

【年齢】



【職業】



問1: 普段から ごみ減量に取 り組んでいますか？	積極的に取り組んでいる	32
	たまに取り組んでいる	29
	取り組んでいない	0
	その他	0

問2: 普段取 組んでいるご み減量の取組 はなんですか？	マイバックを携帯し、レジ袋は断っている	49	過剰包装を断る	31
	マイボトルを持参し、使い捨て容器を断るようにしている	29	ティッシュやキッチンペーパーの代わりに洗えるふきんなどを使う	12
	必要な分量を考え必要な分量のみを買う	39	レストランなどで小盛りを注文するなど、食べ残し(食品ロス)がないようにしている	20
	使い捨て商品(紙皿、紙コップ、割り箸など)を買わない、貰わない、使わない	24	家にある食べきれない食品などについて、フードドライブに寄付をして、ごみにならないようにしている	4
	物は壊れても修理してなるべく長く使う	30	その他	6
	3切り(使い切り、食べきり、水切り)を実践している	1		

パブリックコメントの実施結果（主な意見1）

主内容	件数	意見の要旨（事前送付資料2 No）	反映状況
個別のごみに対する意見（生ごみ、プラ、紙ごみ）	19	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>生ごみ</u>」「<u>紙類</u>」「<u>プラスチック類</u>」の削減に重点を置いた書き方は理にかなったことと思います。（No. 6） ・飲食店などから出る<u>食品ロス</u>をできるだけ抑える仕組みを作らない限り、生ごみの減量化が進んでいかない。（No16） ・<u>生ごみを堆肥化</u>させ、資源化や減量化を行うべき（No12、13、41等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の計画では、ごみを種類別に分けて掲載することで、どんなごみをどのように減らすのか明記している ・「<u>生ごみの堆肥化</u>」について追記（本文修正p46）
新規許可に対する意見	15	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物に係る新規許可を行う際は、<u>既存の許可業者や自治会、市民の意見を十分に聴き</u>、他都市の状況も調査するなど行い、その基準をしっかりと整備すべき（No. 74～79など） ・廃木材や飲料残渣、流木など現在は再資源化できない事業系一般廃棄物について、<u>新規許可により再資源化が進むことに期待</u>（No. 66、81、82、83など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・当計画案にて、条件を満たすことで一般廃棄物中間処分業や施設の新たな許可が可能となる旨、掲載した。 ・新規許可に際しては、基準の整理と、関係者との情報交換を実施していく
ごみの排出方法に対する意見	15	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>プラスチックの分別について、既に実施している市もあるので早急に進めて頂きたい。</u>（No. 15） ・<u>プラスチックを分別しても結局焼却したり、発展途上国に送りつけるなど、あまり意味がないことばかりだと思います。</u>（No. 62） ・人口減少により、ごみ処理に係る市民負担の増加は明らかであるため、家庭ごみ有料化導入等、<u>受益者が応分にコストを負担する仕組みに賛同致します。</u>（No. 39） 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラ分別に際しては利点と欠点の両面から検討を重ねていく ・家庭ごみ有料化については、新たな廃棄物施策のための経費や費用負担の公平性の確保などの観点から、引き続きその必要性を検討していく
家庭ごみ全体に対する意見	14	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡市から出るごみの内、7割を占める家庭ごみについて、事業者とも連携して<u>減量へ取り組むべき</u>（No. 23） ・市民の役割、事業者の役割、市の役割について<u>もっとわかりやすく伝えてほしい</u>（No. 36） ・4 Rをみんなが意識し、<u>積極的に実践</u>するのが何より重要（No. 59） 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみの減量については、基本施策1「静岡板「もったいない運動」の推進」として位置付けている ・3者の具体的な行動例例示した（本文修正p19）

